

GENELEC®

8320A
8330A

オペレーティングマニュアル

8320A/8330A

オペレーティングマニュアル

概要

Genelec 8320A および 8330A は、要求の厳しいプロフェッショナル用途向けにデザインされた 2 ウェイススマートアクティブモニターです。

各スマートアクティブモニターに内蔵の SAM™ (Genelec Smart Active Monitor™) デジタル信号処理 (DSP) と GLM™ (Genelec Loudspeaker Manager™) ソフトウェアは、比類ない音響品質、使いやすさ、難しい音響環境においても高いモニタリング正確性を提供します。高パフォーマンスのドライバーは専用の D クラスパワーアンプにダイレクトに接続されています。システム保護は SAM 信号処理の一部として実装されています。

MDE™ (Minimum Diffraction Enclosure™) エンクロージャはダイキャストアルミ製で、エッジの回折を低減する形状となっています。先進的な DCW™ (Directivity Control Waveguide™) と組み合わせることにより、このデザインは優れた音響中立性に貢献します。

同梱内容

このモニターには、メイン電源ケーブル x 1、RJ45 ケーブル x 1、およびこのオペレーティングマニュアルが付属しています。

接続

接続する前に、モニターと信号のソースがオフになっていることを確認してください。接続が完了したら、モニターの電源をオンにすることができます。

電源

電源スイッチは背面にあります (図 2 参照)。モニターはアース付きコンセントに接続します。アースのないコンセントに接続したり、アースのない電源ケーブルを使用したりしないでください。これらのモニターにはユニバーサル商用電源を装備しており、100-240 VAC 50-60 Hz の範囲の電圧に接続できます。

オペレーティングマニュアル

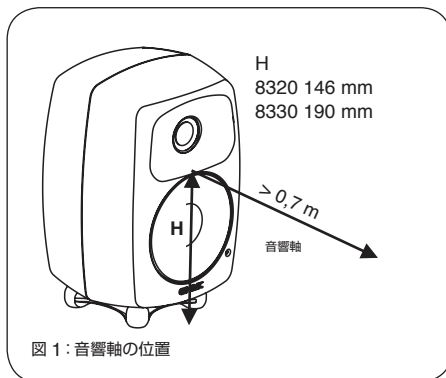


図 1 : 音響軸の位置

GLM ネットワーク接続

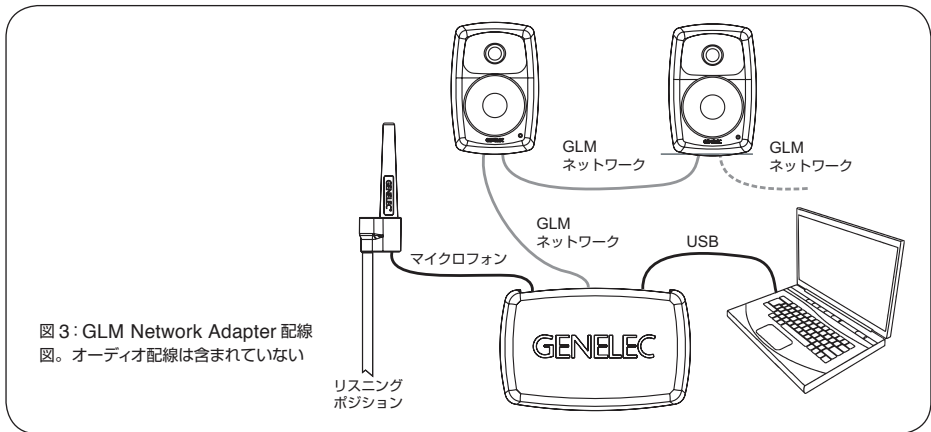
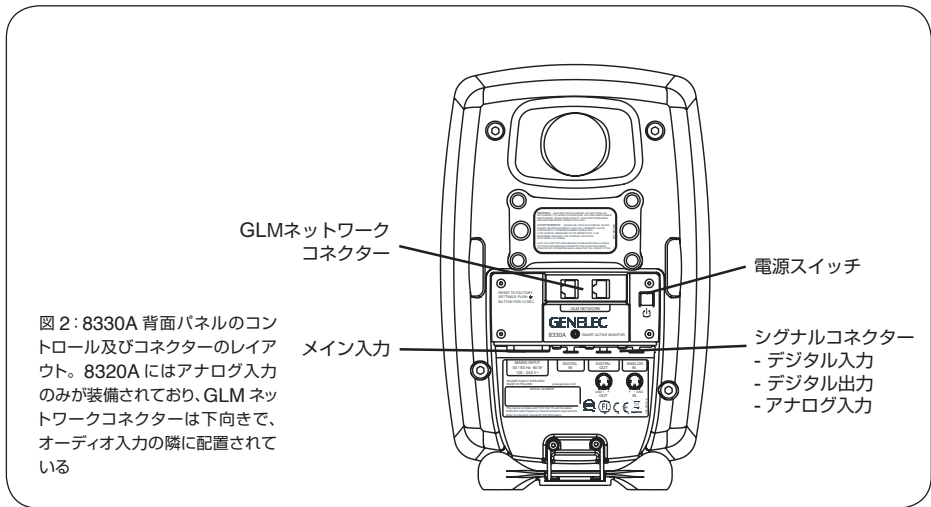
システム内のモニターとサブウーファーは GLM アダプターを使用するコンピューターに接続されます。接続用に RJ45 ケーブルが付属しています。まず、GLM アダプターから 1 番目のモニターに接続してコントロールネットワーク配線を開始します。全てのモニターとサブウーファーをデジチェーン接続します (図 3)。特別な配列は必要ありません。

アナログオーディオ入力

両モデルのアナログオーディオ入力は、オスのバランス XLR コネクターに対応します。

デジタルオーディオ入力

8330A デジタルオーディオ入力 (DIGITAL IN) は、AES/EBU フォーマットのデジタルオーディオ信号を伝送するオスの XLR コネクターに対応します。デジタルオーディオは、XLR 出力 (DIGITAL OUT) を使用して次のモニターまたはサブウーファーにルーティングできます。AES/EBU デジタルオーディオサブフレーム A または B は、GLM ソフトウェアを使用して選択します。



設定と自動キャリブレーション

Smart Active Monitor は室内音響への影響の補正に極めてフレキシブルで、GLM User Kit とソフトウェアを使用した自動設定に対応しています。8320A および 8330A は GLM 2.0 以降に対応しています。

GLM ソフトウェアは Genelec ウェブサイト (www.genelec.jp/glm) からダウンロードできます。GLM 2.0

User Kit はセットアップに必要です。User Kit には GLM Adapter と GLM 測定マイクが含まれています。

GLM Adapter はコンピューターの USB ポートから GLM ネットワークに接続します。GLM 測定マイクはリスニング位置に配置します。

GLM ソフトウェアで設定プロセスを実行してモニターとサブウーファーをシステムとして配置、設定します。キャリブレーション後、コンピューターをそのまま接続した状態にしておき設定を維持するか、GLM ソフトウェアを使用してモニターに設定を保存します。

ISS™自動スタート機能

ISS™ (Intelligent Signal Sensing™) は、スタンバイ時の電力消費を 0.5 ワット以下に抑えます。

ファクトリーデフォルトでは、ISS 機能はオフになっています。ISS 機能は、GLM ソフトウェアの [ISS Power Saving] (ISS 省電力) ブルダウンメニューをクリックして有効化できます。このメニューではさらにスタンバイ状態に入るまでの時間も選択できます。再生は入力信号が検出されると再開されます。再生が再開されるまでにわずかな遅延が生じます。

取付についての検討事項

モニターを正しく配置する

モニターは音響上の軸がリスニング位置を向くように配置してください (図 1 参照)。リスナーが水平方向に動く際のクロスオーバー周波数周辺のサウンドの色付けを最小限に抑えるためにも、縦置きを推奨します。

対称に配置する

モニターをリスニング位置から同じ距離に、室内の壁から相対対称に配置します。リスニング位置は室内の前方と後方を分けるセンターライン上に、モニターはこのセンターラインから同じ距離の位置にそれぞれ配置します。

反響を最小限に抑える

反響はモニターの近くにある物体により生じます。デスク、キャビネット、コンピューターモニターなどがそれに当たります。反響は、サウンドへの不要な色付けや、サウンドイメージの不安定さにつながります。反響面からモニターとリスニング位置を離して設置することで、これを最小限に抑えることができます。

最小隙間

アンプが冷却され、レフトポートが正しく機能するよう、空間には十分な余裕を設けてください。モニターの背後、上、両側には、少なくとも 3cm の間隔を空けてください。環境温度が 35 度を超えないようにする必要があります。

取付オプション

Genelec 8320A および 8330A はいくつかの取付オプションを提供しています。Iso-Pod™ (Isolation Positioner/Decoupler™) 防振スタンドを使用すると、リスナーに向けてモニターに角度をつけて音響軸上に正しく配置できます。また、モニター底面には、標準的なマイクスタンドに対応する 3/8 インチ UNC ネジ穴があります。背面には 2 つの M6 x 10 mm ネジ穴があり、壁や天井への取付けに使用できます。Genelec では取り付けアクセサリを幅広く提供しています。Genelec ウェブサイトをご覧ください。お近くの Genelec 取扱店までお問い合わせください。

メンテナンス

モニター内部にオーナー自身で点検修理が可能な部分ははありません。保守や修理は Genelec 認定サービスのみ実施可能です。

安全性についての検討事項

8320A および 8330A は国際安全基準に準拠するようデザインされていますが、安全な動作を確保し、モニターを安全な動作条件下に保つため、以下の警告と注意を順守する必要があります。

- 保守を認定サービス以外の者が実施してはいけません。モニターを解体してはいけません。
- アースのない電源ケーブルまたはアースなしの電源接続を用いてモニターを使用してはいけません。
- モニターを水または湿気に曝さないでください。花ビンなど液体で満たされた物体をモニターの上や付近に置かないでください。
- このモニターは 85 dB を上回る音圧レベルを生成できますが、このレベルは聴覚に恒久的な損傷を与える場合があります。

- 十分な冷却を保つため、モニターの背後で空気が対流している必要があります。モニター周辺の空気の流れを遮らないようにしてください。
- 本デバイスは主電源コードがデバイスまたは電源コンセントから取り外されていなければ AC 電源から完全には接続解除されません。

保証

本製品は、材料または製造上の瑕疵および不具合に関して 2 年間保証されています。販売条件および保証条件について詳しくは販売店にお問い合わせください。www.genelec.jp/customer-service/ よりモニターをご登録ください。これにより 3 年の延長保証（トータル 5 年保証）が受けられます。

FCC規則への準拠

本製品は、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。動作は次の 2 条件に基づきます。

本機器が有害な妨害の原因とならないこと、および本機器が不要な動作の原因となる妨害を含むあらゆる妨害を受信すること。

注：本装置は、テストの結果 FCC 規則のパート 15 に従い、クラス B のデジタルデバイスの制限を遵守していることが確認されています。これらの制限は、住宅に設置するにあたり有害な妨害に対する適切な保護を提供することを目的としています。本装置は無線周波エネルギーを発生、使用、放射しており、指示に従わずに設置または使用された場合、無線通信への有害な妨害の原因となる場合があります。ただし、特定の場所に設置することによって妨害が発生しないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信の有害な妨害の原因となる場合は（装置電源をオン・オフすることで確認いただけます）、以下の対策を 1 つ以上行って妨害を正すことをおすすめします。

受信アンテナの向きまたは場所を変更する。

装置と受信機の距離をさらに空ける。

受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに装置を接続する。

取扱店または経験豊富なラジオ技術者またはテレビ技術者に相談する。

製造者によって明示的に許可されていない変更を行うと、装置を操作する権限が無効になる場合があります。

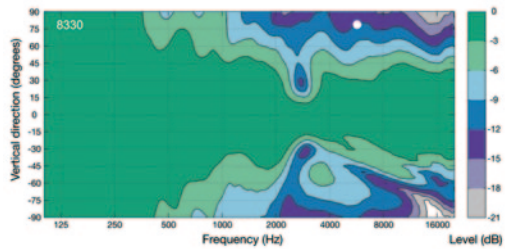
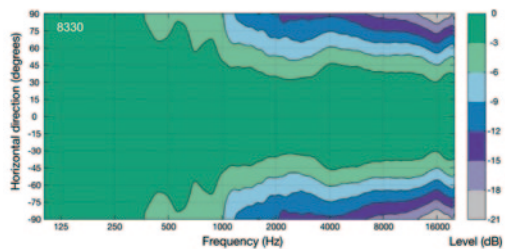
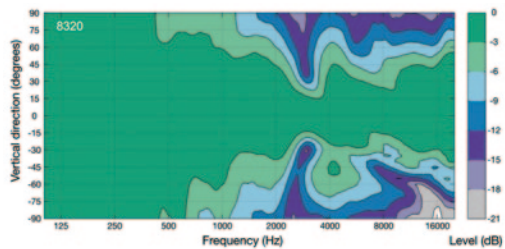
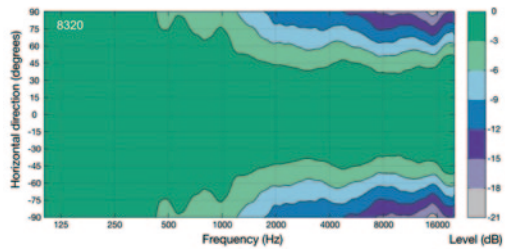


図 4 : 8320A および 8330A の水平指向特性と垂直指向特性

システム仕様

	8320	8330
周波数範囲 -6 dB:	55 Hz - 23 kHz	45 Hz - 23 kHz
周波数特性の精度:	± 1.5 dB (66 Hz - 20 kHz)	± 1.5 dB (58 Hz - 20 kHz)
瞬間最大音圧レベル、軸上、半空間、100 Hz ~ 3 kHz:	> 100 dB SPL	> 104 dB SPL
RMS 最大音圧レベル、IEC 特性ノイズと同条件 (ドライバユニット保護回路による制限):	> 94 dB SPL	> 96 dB SPL
ペア毎の最大ピーク音圧レベル、@ 1 m:	> 107 dB	> 110 dB
残留ノイズレベル、フリー空間、軸上:	< 5 dB (A 特性)	
高調波歪み、85 dB SPL、軸上:	50...200 Hz ≤ 3 % >200 Hz ≤ 0.5 %	50...100 Hz ≤ 2 % >100 Hz ≤ 0.5 %
ドライバー: ウーファー ツイーター どちらのドライバーも防磁シールドがなされています	105 mm、コーン 19 mm、 メタルドーム	130 mm、コーン 19 mm、 メタルドーム
質量:	3.2 kg	5.5 kg
外寸: 高さ (Iso-Pod™ テーブルスタンドを含む) 高さ (Iso-Pod™ テーブルスタンドを含まない) 幅 奥行き	242 mm 230 mm 151 mm 142 mm	299 mm 285 mm 189 mm 178 mm

アンプセクション

ベースアンプ瞬間出力	50 W
トレブルアンプ瞬間出力	50 W
倍音歪み (通常出力時)	<0.05%
電圧	100-240 VAC、50-60 Hz
消費電力 (ISS 有効 / 待機 / 最大)	< 0.5 W / 3.0 W / 50 W

入力セクション

デジタル AES/EBU オーディオ信号コネクタ (シングルワイヤ)	n/a	XLR メス入力 XLR オス出力
入力ワード長	n/a	16 - 24 bits
入力サンプリング周波数	n/a	32 - 192 kHz
クロスオーバー周波数	2.9 kHz	
アナログ入力 (負荷インピーダンス)	XLR メス (10 kΩ、バランス)	
アナログ入力レベル (100 dB SPL 出力 @ 1 m)	-6 dBu (GLM ソフトウェア内で調整可能)	
最大アナログ入力	24 dBu	
GLM コントロールネットワークコネクタ	2 x RJ45	

GENELEC®

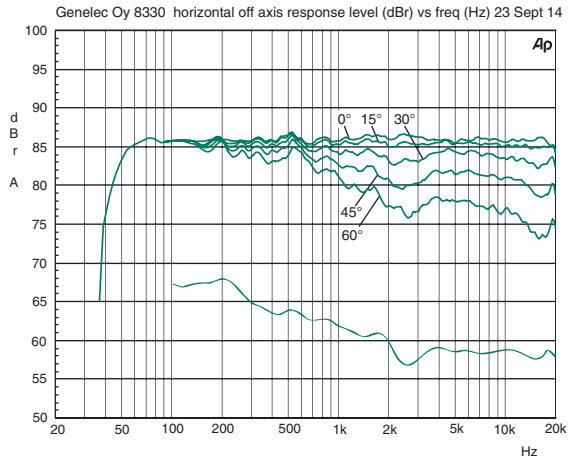
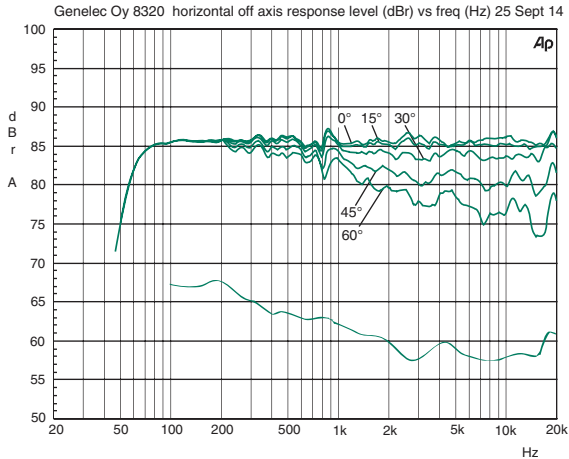


図 5 : 8320A および 8330A 水平軸の周波数特性。下のカーブはモニターの電力感度を示している

株式会社ジェネレックジャパン

<本社>
107-0052
東京都港区赤坂二丁目22番21号
電話番号:03-6441-0591

<長野オフィス>
381-0201
長野県上高井郡小布施町小布施1497-2

修理お問い合わせ先

<ジェネレックサービスセンター>
電話番号:050-3786-1236
平日10:00~18:00
(夏季/年末年始休業を除く)

修理のご依頼は、お電話または修理依頼フォームがご利用いただけます。修理依頼フォームは、Webサイトのカスタマーサービス内にご用意しております。

www.genelec.jp/customer-service/

www.genelec.jp